

FOCUS

追いかける。大学生。

学内保育園

大学で子育て支援

大学には学生、職員など幅広い年代の人々が在籍している。ライフスタイルもさまざまに子供を産み、家庭を持つ人も珍しくない。大阪大学では学内に2つの保育園を保有している。大学における子育て支援の実態に迫った。

大学の子育て支援で人材活用 阪大 たけのこ保育園

広大な土地に路線バスやトラックが行き交う吹田キャンパス。理系学部を中心としたこのキャンパスの一角にあるのが「たけのこ保育園」だ。この場所で約75人の園児たちが生活している。

たけのこ保育園は昭和45年から運営されている。元々は職員の自主運営でまかなわれてきたが、平成20年から大学が直接管理するようになった。大学が子育てを支援することにより、女性など多様な人材を活用し、研究の質を高めることが目的だという。入園条件は保護者のどちらかが阪大の職員または学生であること。実際に大学院生の子供も入園しているという。「教授の子供でも学生の子供でも平等」と保育園のスタッフは話す。入園の希望者が多いときには抽選が行われる

が、今まで抽選になったことは少なく、現状で十分にニーズに当たっているといえる。また、キャンパス内の大学病院で健康診断が受けられる他、看護や保育の授業などで学生と交流するなど大学内の施設らしい特徴もある。

「働きながら授乳を続けることは、小さい子供をもつ母親としては、本当にありがたいことです」と「学内保育園でのつながりによる他部署の保護者とのつながりが、仕事にも役に立ちました」などといった保護者の好意的な感想もホームページ上で公開されている。

関西の大学での子育て支援
UNNが独自に行った調査によると加盟大の中で子育て学生へ単位免除など具体的な支援制度を設けている大学はな

かった。施設面では阪大の保育園や神戸大の相談室など複数の大学で実践されているようだ。また、子どもがいる学生が自分で学生団体を立ち上げ、育児や出産について話し合うなどの動きもある。

※UNN加盟大学・・・京都大、大阪大、神戸大、関西大、関西学院大、同志社大、立命館大、京都女子大、神戸女学院大。



「教授の子供でも 学生の子供でも平等」

UNN 関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです